

इष्टा 世話プロジェクト

日本からインドへ Covid19救援ミッション

“Sewa”はインドのヒンディー語
日本語の“世話”と同意語です



Sewa Project Japan-India COVID19 Relief Mission

このプロジェクトは(一社)日本アーユルヴェーダ学会と(NPO)日本アーユルヴェーダ協会の2非営利団体共同による寄付活動です。

背景:

- ▶ インドにおけるパンデミックの状況は、深刻さを増しており死者の増加と共に人々の暮らしを脅かしている。
- ▶ 日本には多くのインドと何らかの関わりのある個人や組織があり、インド人に何か救済の手を差し伸べたいと強い意志を持っている。
- ▶ 既に両国政府間における話はされており、医療機器や物資の供給について二国間のルートでの取り組みが既に始まっている。
- ▶ しかしながら、被害は甚大であり、どんなレベルであっても迅速な救援はもとより、中長期に亘る復興支援が求められている。

ビジョン: 日本とインドの強い絆を活かし、このコロナ禍の緊急事態を乗り切る

ミッション: 日本の「**寄付者**」からインドの「**受益者**」に対し、物資や義援金による救援を効果的に受け渡す仕組みを作り上げ、迅速かつ継続的に実行する

- ▶ 「**寄付者**」：
インドと繋がりのある日本の企業、業界団体/機関、個人
- ▶ 「**受益者**」：コロナ禍に対して医療機器や物資(酸素、濃縮器、人工呼吸装置、医薬品、ワクチン等)の供給などの救援活動を最前線で行っているNGOやインド政府認定国際機関（インド赤十字社等）

救援物資スキーム

機器購買

輸送

機器使用

インド国内
一般向け
医療機器無償提供
救援スキーム

ボランティア団体(Sewa Project)が調整管理

寄付者(日印関連団体・日系企業・個人)

義援金

医療機器
メーカー

支払

日本アール
ヴェーダ学会

(無償貨物扱い)

インド
赤十字社

Health
Ministry

州政府
指定病院
etc.

有償提供
(通常取引)

輸出者

1次受益者
輸入者

2次受益者

最終受益者

輸送業務委託
貿易手続き代行委託

国際フォワーディング輸送業者

航空便実輸送委託

航空実輸送業者 : Air India (協賛会社 仮)

救援物資（優先リスト） [最小数量]

- ▶ **酸素濃縮器 [30]**
 - ▶ 6 LPM 以上が望ましい
 - ▶ 排出計、レギュレーター、コネクタ、チューブ込み
 - ▶ 220 v (110v仕様の場合は220 v への変圧器が必要)
 - ▶ 日本語表記や表示、取説が日本語の場合、英語での使用説明ビデオが必要
- ▶ **酸素ボンベ / キャニスター付きLMO (10 L, 45 L, etc.) [100]**
- ▶ VPSA & PSA 酸素プラント, 低温空気分離器 [1]
- ▶ 酸素発生機, フィリング、貯蔵タンク
- ▶ **人工呼吸装置 [15]**
- ▶ BiPAP /NIV [30]

医薬品

- ▶ Remdesivir
 - ▶ また同薬品製造のための Beta Cyclodextrin
 - ▶ Remdesivir注射器
 - ▶ 医薬品管理者と要相談
- ▶ Tocilizumab

- ▶ **救急車、プラズマ、マスク、PPEキットなど不要**

義援金支援

義援金公募

送金

救援資金活用

インド国内一般向け
義援金提供スキーム

- インド関連団体:
(日本アーユル
ヴェーダ学会、
日本アーユル
ヴェーダ協会、
日印協会、JCCII
等)
- インド進出済
日系企業
- 日本人 (在印
日本人会含む)
- 在日インド人
(親睦団体等)

ボランティア団体(Sewa Project)が調整管理

日本国内
銀行振込

日本アーユルヴェーダ学会
で義援金口座を設置

クレジット
決済

クラウドファンディング(日本)
(Congrant Japan)

※手数料4.8%

クレジット
決済

クラウドファンディング(インド)
(Ketto India、仮)

※手数料無し

但、インドへの送金のみ可

【検討中】

第一優先受益者

インド
赤十字社

州別赤十字
支店

代替受益者

UNESCO
特定NGO

優先取り組み事項

- 病院にかかれない個人に酸素を供給すること
- 自宅隔離のために医薬品やキットを供給すること
- コロナ患者の手当をする規模を拡大すること
- コロナ患者や死者を運送する救急サービスの拡充
- 医療スタッフ、警察官、その他最前線で活躍している人達の手当

- ▶ インドで供給不足もしくは価格が高騰し、調達が困難となっている物資の供給を優先、酸素関連機材を最優先とする
- ▶ 日本での義援金の募集を開始し、救援物資を調達してインド政府認定のインド赤十字社に輸送する、または同社での救援活動を支援するために義援金を送金する

救援物資



義援金

考慮すべき重要ポイント

- ▶ インド赤十字社はインド政府認定の外国からの救援物資及び義援金の受け手となっている。
- ▶ メールやポータルサイトにおいて個々の物資の供与先についての情報を提供してくれる。
- ▶ 義援金の送金に際しては、その使途（特定の地域や活動）に条件を付けることができる。
- ▶ インド赤十字社は募金の使途についてのレポートを提供してくれる。
- ▶ インド赤十字社はFCRA認証の下で外国からの直接送金が可能。
その他の機関(日本赤十字など)を通してのインド赤十字社への義援金の送金は好まれない。

ボランティア団体(Sewa Project)の組織・役割

▶ プロジェクトオーナー:

(一社)日本アーユルヴェーダ学会 (代表者:北西剛理事長)

(NPO)日本アーユルヴェーダ協会 (代表者:上馬場和夫理事長)

▶ 後援者: 広報活動に協力して下さる信頼に足る団体や個人

(候補: 在日インド共和国大使館、在インド日本国大使館、日印協会、インド日本商工会、等)

▶ 実行委員会: タイムリーかつ適切な判断の下、義援金の受益者への分配や要請など重要事項について決定する委員会 (全員ボランティア)

▶ タスクフォース: ボランティアによって各種業務を行うプロジェクト監督推進チーム (関連部門や外部との交信、諸手続きなど)

▶ 運営パートナー: クラウドファンディング運営業者

▶ アドバイザー(顧問): 隘路が生じた場合に優先順位や解決策を示唆する団体もしくは個人

ボランティア団体(Sewa Project)の組織・役割

オーナー

- ▶ 日本アーユルヴェーダ学会
北西理事長
稲村副理事長
東事務局長
- ▶ 日本アーユルヴェーダ協会
上馬場理事長
ジヴァ・ジャパン
文分氏

アドバイス

顧問

- ▶ アショック
チャウラ教授
インド外務省顧問
- ▶ ネルー大学元教授
プレムモトワニ氏

実行委員会

- ▶ 実行委員長 ヴィニート・ジェーン (NRI India)
- ▶ 実行副委員長 プラサード・バクレ (Sumida Japan)
- ▶ 委員 内海孝亮 (Nippon Express India)
- ▶ 委員 澤みのり (NRI India)
- ▶ 委員 磯貝富夫 (インド日本ビジネス協議会顧問)

タスクフォース

- ▶ 日本・インドの大学での日本語学生・卒業生
- ▶ 日本企業・在日日系企業に働く日本人・インド人

運営パートナー

- ▶ 国際フォワーディング輸送業者
- ▶ 航空実輸送業者: Air India (協賛会社 仮)
- ▶ Crowdfunding Platform: Congrant Japan, Ketto India (仮)

タイムリーかつ適切な判断の下、義援金の受益者への分配や指示など重要事項について決定する委員会
(全員ボランティア)

ボランティアによって業務を実行するプロジェクト監督推進チーム
(関連部門や外部との交信、諸手続きなど)

日本アーユルヴェーダ協会
上馬場先生にて物資調達を
推進中

第一弾推進計画

救援物資候補

- ▶ 人工呼吸器 [x15]
▶ 1器当たり 約40万円
= 600万円 (INR 4.0 Million)
- ▶ 酸素濃縮器 [x30]
▶ 1器当たり 約30万円
= 900万円 (INR 6.0 Million)

義援金目標

活動の第一弾として、これらの最優先救援物資をインドに送付するため、
1500万円の調達を目標としています。

企業・団体：5万円～ 個人：5千円～
(第一弾募集期間：5月20日～5月31日)

募金方法とお問合せ先

振込口座：三菱UFJ銀行、静岡支店（普）0310011、口座名義：一般社団法人日本アーユルヴェーダ学会

申込フォーム：<Cogrant URL / QR Code>

★お手数ですが、上記の申し込みフォームをご記入ください。領収書発行もご対応させていただきます。★

この活動へのお問合せ先：kyoukai@npo-ayurveda.com (NPO法人日本アーユルヴェーダ協会窓口)

ご後援者様のご協力をお願い申し上げます。

- ▶ 義援金をより多く集めるため、寄付者に対して当プロジェクトの信頼性を高めることが必要であり、貴団体からのご後援をお願いする次第でございます。
- ▶ 具体的な後援の形としては下記をご検討いただけますと幸いです。
 - ① 貴団体のウェブサイト、SNS等で当プロジェクトを広くご紹介いただくこと。
 - ② 各種のプロジェクトPR資料に貴団体のロゴマークを付けることにつきましてご承認をいただくこと。
 - ③ 当プロジェクトの对外発表時等に貴団体の代表者に参加いただくこと。
 - ④ 各種メディアでの当プロジェクトに関する投稿で後援者として貴団体の名称を公表することにつきましてご承認いただくこと。